

あの質問はどうなったん？

追跡調査

過去に行われた質問や提言が、その後どう取り組まれたかレポートします。

県央水質浄化センター



利根川への放流渠（小泉）▶

今後の下水道整備計画は、どうなっているのか

（平成21年6月定例会・12月定例会ほか）

質問

下水道事業が始まってから20年以上たつが、玉村町の普及率は、県央汚水処理施設があるにもかかわらず、全国平均以下である。今後の計画はどうなっているのか。

町長答弁

玉村町は、工業団地を除く全域が、公共下水道区域となっている。平成23年度に、次の認可区域の拡大を予定している。市街化区域はほぼ完了しており、今後の整備予定区域は、地元の要望を聞きながら決定したい。

その後

平成22年度の工事は、18カ所を予定

公共下水道工事8カ所（板井・福島地内など）、特環工事6カ所（斎田・角淵地内）、雨水滝幹線設置工事4カ所（上・下新田、上飯島地内）を計画しています。全体の工事費は、約4億1000万円（国からの補助金なども含みます）を予定しています。

これにより、全体計画931ヘクタールのうち、547ヘクタール（約59%）の整備が完了します。